

「最後に歯医者に行ったのはいつですか？」 日本人80歳で自分の歯は10本以下!? 何歳になってもスマイルは、歯が命!

「親不知を除いて計28本ある永久歯のうち、日本人は80歳にもなると、ご自分の歯は10本以下にまで減ってしまいます。一方欧米では、80歳でもなんと20本以上の歯を維持しています。いったいどうして、日本人は年齢を重ねるにつれて18本以上もの歯を失ってしまおうと思いますか」。

現在の日本人の、歯に対する意識の低さに焦りを感じているのは、東急多摩川駅そばに医院を構えるみさき歯科室(大田区田園調布、03・3721・4618)の飯塚真也院長だ。



飯塚真也院長

歯科の治療費に日本の何倍もかかるという欧米だが、最低でも年に1〜2回は、予防のために歯科検診を受ける習慣が根付いている。しかし日本では、予防歯科という概念が浸透していない。これが大きな問題だと飯塚院長は語る。「噛み合わせが悪くても歯周病が進行していても、我慢できない痛みが出ない限り日本人は歯医者に行きません。定期的にクリーニングに行く日本人は、たったの2%。だから高齢になったときに歯を失ってしまうのです」。

几帳面で真面目な日本人の暮らす我が国は、とても清潔と欧米から評価されている。トイレは自動洗浄、街路にもゴミは散乱していないが、綺麗な歯で笑顔を見せられる日本人は少ない。

5年後の東京オリンピックで綺麗な歯の素敵な笑顔を世界中に印象付けるためにも、歯の健康を考へることは今からでも決して遅くはない。同院ではさまざまな選択肢を丁寧に説明し、患者者を選択していたく方針で治療を行っている。電話またはホームページ(<http://dental-misaki.com>)からお問合せを。



外観も、子どもたちに人気の癒し犬「ミント」も、気軽に足を運びやすい雰囲気

